

生活困窮支援もっと

長野生健会 市に21項目の要請

長野生活と健康を守る会は24日、長野市に對し生活困窮者の支援を強化し、生活保護の充実、熱中症対策や市営住宅の改修など21項目について要請し、懇談しました。

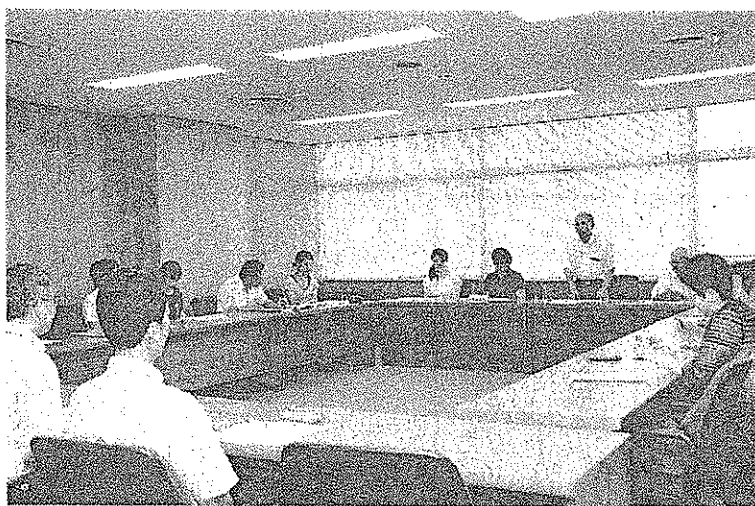
長野県民医連は4月、生活保護受給者の

生活実態調査結果を発表しました。生活保護をうける背景の多くが、失業と病気で、節約の域を超えた食生活などが浮き彫りになりました。

要請には生健会の会員、長野医療生協職員など13人が申し入れ、

生活困窮者の実態を示し、丁寧な窓口対応を行うよう求めました。

長野医療生協の相談員は、「市の職員の勉強不足で、対応がまちまちになっている。中には対応が悪く、申請したくないと話す相談者もいる」と指摘。別



生活困窮者の支援について、長野市（手前）に要請する、長野生健会、長野医療生協職員ら＝24日、長野市

の職員も「申請をためらわないよう、利用する権利があるというメッセージを市の広報を

通じて発信してほしい」と求めました。

市の担当課長は「どう対応すればいいかわからない場合は、周りの職員と相談し、職員の研修などもさせていきたい」と約束しました。

生健会側が小中学校の保健室のクローゼットを求めたのに対し、市教育委員会は「保健室の設置の要望は多くある。計画的に設置できるといい」と応じました。